

(人を対象とする看護系研究に関する情報公開)

研究課題名	透析予防外来糖尿病腎症患者における看護師を含めた多職種による療養支援回数と eGFR 低下速度の関連
研究の意義・目的	糖尿病腎症患者さんを対象に、診療録（電子カルテ）に記録された情報を用いて、初診時と1年後、2年後の eGFR の変化と療養支援回数との関連を検討する研究を実施しています。看護師を含む多職種による療養支援の意義を明らかにし、今後の看護実践の質向上に役立てることを目的としています。
研究を行う期間	大阪公立大学医学部附属病院 看護部研究・倫理審査委員会の承認後～2027年3月31日まで
研究協力を お願いしたい方 (対象者)	透析予防外来（本院では腎症進行予防外来と称する）で看護師を含めた多職種による療養支援を受けた経験のある糖尿病腎症患者
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく 試料・情報等の項目	1. 初診時の情報：年齢、性別、身長、体重、eGFR、HbA1c、収縮期血圧、尿たんぱく、微量アルブミン尿 2. 透析予防外来における療養支援の実施回数 3. 初診から1年後、2年後の eGFR 4. 1年後、2年後の eGFR が確認できなかった場合その理由：中断、転医など 5. 腎保護作用があるとされる薬剤使用の有無 ※これらの情報はすべて診療録（電子カルテ）から取得します。
試料・情報の 他機関への提供	研究に使用するデータは、個人を特定できないよう匿名化し、本研究目的以外に使用することはありません。
この研究を行っている 共同研究機関	なし
試料・情報を 管理する責任者	データ管理責任者：大阪公立大学医学部附属病院 13西病棟 スタッフ 江尻 加奈子（糖尿病看護認定看護師） 13西病棟師長 中藤 裕美
本研究の 利益相反	本研究は、通常の診療で得られた情報を用いる後方視的観察研究であり、新たな検査や治療、追加の負担が生じることはありません。
研究に協力を したくない場合	本研究への参加を希望されない場合には、2026年4月30日までに申し出いただくことで、該当するデータを研究対象から除外いたします。 期限以降は、個人が特定できないようにデータを加工（匿名化）したうえで解析を行います。この段階になると、どのデータがどの患者さんのものかを識別することができなくなるため、データの削除ができなくなります。そのため、期限日以降の撤回には対応できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。なお、期限までであれば不利益なく自由に撤回することができます。 研究への参加・不参加により、今後の診療に不利益が生じることは一切ありません。また、掲示物の確認が困難な方（視覚障害を有する方等）やご本人による意思表示が難しい場合には、透析予防外来受診時に研究責任者または外来担当看護師が口頭で研究概要を説明します。必要に応じてご家族等の代諾者へ説明を行い、研究参加

(人を対象とする看護系研究に関する情報公開)

	<p>を希望されない場合は、外来受診時に担当医師または外来看護師へ申し出るか、研究責任者へ連絡することで拒否することができます。拒否の申し出があった場合には、当該対象者のデータは研究解析から除外します。ご不明な点がある場合は、下記連絡先までお問い合わせください。</p>
連絡先	<p>大阪公立大学医学部附属病院 腎症進行予防外来（06 - 6645 - 2133）もしくは13西病棟（06 - 6645 - 3135） 江尻 加奈子（13西病棟 師長 中藤 裕美）</p>